

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1022
施設名	世田谷おとぎの森保育園
施設所在地	世田谷区岡本2-22-11
法人名	社会福祉聖光会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

「自然」～木のことを知っていくことで、自然を身近に感じたり、大切にしたい気持ちが芽生えたり、遊びに取り入れてみようとしたりしながら、木との関わりを深めていく～

<テーマの設定理由>

当園の周辺には、木や草花、虫など自然が豊かにある。虫などについては知識をどんどん深めている様子であるが、木については職員も園児も中々知識を深められないでいる。しかし、周辺の木々からは、癒しや涼しさ、美しさ、美味しい空気など沢山贈り物を日々貰っている。子ども達にも木への親しみが深まっていくといいなと願いを込め、自然の中の木育をテーマに取り組みを決めた。

## 2. 活動スケジュール

6月 世田谷公園のプレパークへ行き、自然の中で遊ぶ楽しさを感じる。  
7月 木の講師と周辺探検。木々を紹介してもらう。  
11月 ツリーハウス作りの案を子ども達同士で相談する。  
1月 宮大工さんの作業を見学する。  
2月 自分たちの取り組みを保護者へ発表する。  
3月 ツリーハウス作りを体験する。(オイル塗り、ポスト・巣箱・ブランコ作り)  
完成したツリーハウスで遊ぶ。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)  
木の講師と仲を深めながら、木について知っていることを楽しめる環境。  
普段使うことがない、道具との出会い。(のこぎり、トンカチ、やすり、オイル塗り)

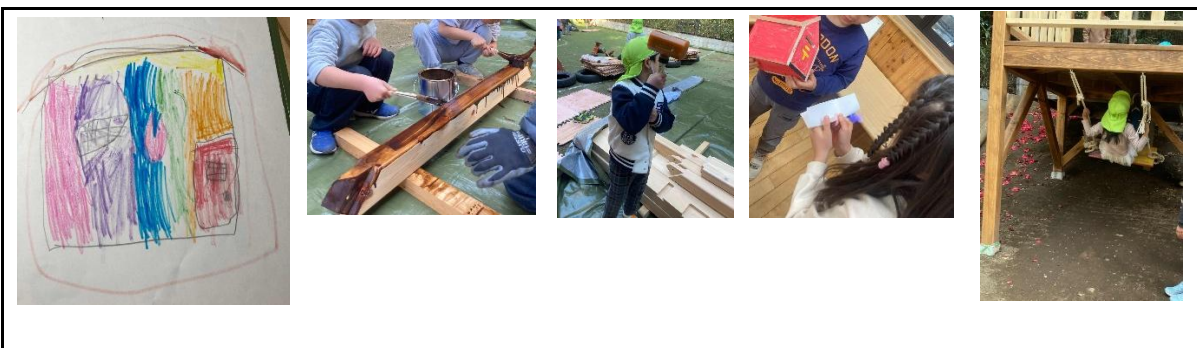
#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

木くずや丸太で遊ぶ。  
ツリーハウスに設置する、ポストや巣箱、ブランコの組み立てを実施。（紙やすりで角をとり、釘をうって組み立てをし、色を塗る。）  
ツリーハウスが出来上がっていく過程を間近で見る。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）  
園の周辺を木の講師と探検していると、自分たちのクラス名である「けやきの木」を見つけ、大喜びしており同時に木をより身近に感じている姿があった。  
木での物作りを通して、木で何か作りたいという気持ちが子どもの中で膨らんでいく。  
そんな中、園児が動物がツリーハウスを協力して作る絵本を発見し、「これ作ってみたい！」と担任へ提案する。その案をクラスで伝えると、皆「やりたい！」と意欲が高まり、どんなツリーハウスがいいか相談していった。そして、その案を子ども達が木の講師に伝えていき、ツリーハウス完成へと繋がっていった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

こちらが予想していた以上に、木での物作りが子ども達にヒットしていて、どの取り組みも夢中になって取り組んでいる様子が見られた。古い木で物を作り、新しい木を植える取り組みが地球の環境をよくしていることを、子ども達なりに理解しているようにも感じられた。  
また、自分たちで考えたアイデアを友達と相談しながら進めていき、実際に完成させることができたことが子ども達の大きな自信に繋がっていたように思う。  
取り組みを通して、自然を身近に感じる姿、友達と協力する喜びや嬉しさを十分に感じていたと思う。